

なまえ
名前

以下の URL または QR コードから動画を見て、問いに答えましょう。

<https://www.nhk.or.jp/kokokoza/tv/basickokugo/archive/chapter010.html>



れきしてきかなづか
1. 「歴史的仮名遣い」とは？

「**君**待つと **我**が**恋**ひ居れば **我**が**屋**戸の **簾** 動かし **秋**の**風**吹く」 〈万葉集〉**額**田**王**

→「**き**みまつと **あ**が**こ**い**お**れば **わ**が**や**どの **す**だれう**ご**かし **あ**きの**か**ぜ**ふ**く」

この歌中の「恋ひ」は、「こい」と読みます。このように、**古語の表記と現代の発音(表記)に異なるものがあります**。この、**現代とは異なる昔の仮名遣い**のことを「**歴史的仮名遣い**」といいます。私たちが普段使っているのは「**現代仮名遣い**」です。

こご よ りかい
2. 古語の読みのきまりを理解する

① **語中、語尾の「は・ひ・ふ・へ・ほ」**は、ワ行音「**ワ・イ・ウ・エ・オ**」と読む。

例。 「思**ふ**」 → 「おも**う**」 。 「あ**は**れ」 → 「あ**わ**れ」 。 「いにし**へ**」 → 「いにし**え**」

② 「**ゐ・ゑ・を**」は、「**い・え・お**」と読む。

例。 「ま**ゐ**る」 → 「ま**い**る」 。 「ゆ**ゑ**」 → 「ゆ**え**」 。 「**を**り」 → 「**お**り」

③ 「**ぢ・づ**」は、「**じ・ず**」と読む。

例。 「もみ**ぢ**」 → 「もみ**じ**」 。 「い**づ**れ」 → 「い**ず**れ」

④ 「**あふ(あう/au)**」を「**おう(ô)**」、「**いふ(いう/iu)**」を「**ゆう(yû)**」、「**えふ(えう/eu)**」を「**よう(yô)**」と読む。

例。 「**あ**ふぎ(扇) → 「**お**うぎ」 。 「**い**うなり(優なり) → 「**ゆ**うなり」
 。 「**ゑ**ふ(酔ふ) → 「**よ**う」

これにもとづいて、「**か**ふ(kau) → 「**こ**う(kô)」、 「**さ**ふ(sau) → 「**そ**う(sô)」、
 「**き**ふ(kiu) → 「**き**ゆう(kyû)」、 「**し**ふ(siu) → 「**し**ゆう(syû)」、
 「**け**ふ(keu) → 「**き**ょう(kyô)」、 「**せ**ふ(seu) → 「**し**ょう(syô)」

のように読みます。

⑤「くわ(くわ)」は「か」に、「ぐわ(ぐわ)」は「が」に置き換える。

例。「くわし(菓子)」→「かし」 ○ 「さんぐわつ(三月)」→「さんがつ」

◆次の文の読み方を「現代仮名遣い」で表記するとどのようになるか、書き入れよう。

はる あげほの。やうやうしろくになりゆく山ぎはすこあかりて 紫 だちたる雲の細くたなびきたる。」
清少納言(『枕草子』第一段)

→「はるはあげほの。 しろくになりゆく すこしあかりて
むらさきだちたるくものほそくたなびきたる。」

確認問題 動画を見て答えよう。

Q1 「君待つと 我が恋ひ居れば 我が屋戸の簾動かし 秋の風吹く」という歌中の

「恋ひ居れば」の読み方を、次の中から選ぼう。

A こひおれば B こいいれば C こいおれば

Q2 古文の語中に出てくる表記「はひふへほ」は、現代の仮名遣いに直すとどうなるか。

次の中から選ぼう。

A はひふへほ B やいゆえよ C わいうえお

Q3 歴史的仮名遣いによる「てふてふ」の読み方を、次の中から選ぼう。

A ちょうちょう B とうとう C ていてい

発展問題 学んだことをもとにして、下線部の歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直そう。

①あぢ→ ⑦にはかに→

②みど→ ⑧からうじて→

③おほかた→ ⑨くわんのん→

④こゑ→ ⑩よそほひ→

⑤まうす→ ⑪りうぐう→

⑥はづれ→ ⑫をさなき→

⑬風の音、虫の音などはたいふべきにあらず。

→

⑭新しく作りてまゐらせたまへかし。

→

一日も早く、みなさんと一緒に学校で学習できるよう願っています。がんばりましょう！